発 行 者



兵庫県立総合リハビリテーションセンター リハビリテーション中央病院

〒651-2181 神戸市西区曙町1070 TEL (078) 927-2727 FAX (078) 925-9203

ホームページ http://www.hwc.or.jp/hospital/

リハ機能の第3者評価結果

院長司馬良一

皆様方のリハビリテーション(以下リハと略す)ニーズに応えられるように職員一同努力しているところであります。当病院は日本医療機能評価機構による病院機能評価を平成10年に認定され、平成16年に再認定(更新)されております。認定された病院はさらに付加機能としてリハ、救急医療または緩和医療の評価を受審することができます。当病院に関して、果たして現状でよいのか、改めるべきところは何なのかを知る目的でリハの機能を第3者の視点からの評価を受けることにしました。地域における役割、組織体制、運営、施設・設備、患者様の対応、診察について評価され本年3月認定されたところであります。全国で2番目の認定病院になります。

以下評価結果の総括(全文)をそのまゝで紹介致します。

「県が設置したリハビリテーション専門病院として、充実した施設・設備と豊富な専門職を擁して質の高いリハビリテーションに取り組んでおり、脳血管障害のみならず、脊髄損傷や四肢切断、あるいは神経難病の患者にも広く受け入れていることは評価された。今回のリハビリテーション付加機能評価では、貴院の現状には特に大きな問題点は見受けられなかったが、一部にはさらに積極的に取り組むべき課題もあったので、今後のリハビリテーションのあり方として十分に検討されたい。また、貴院の重要な役割とされる他の医療施設のリハビリテーションを支援する機能については、より一層の充実した取り組みが行われることを期待したい。」

課題として、他の医療機関および保健・福祉施設等との連携強化と教育・研修の積極的な取り組み、治療成績等を評価・検討する仕組みの確立、入院待ち期間の短縮、 多職種による入院患者様の生活機能の自立および2次障害・合併症の予防の対応などが挙げられ、病院としてこれらの課題に取り組む所存であります。

皆様方のご意見もお待ちしております。

眠りについて

眠りは私たちの心と体を健やかに保つために大切なことです。 眠ることは、身体と精神の疲労回復に役立ちます。

看 護 部

<眠りの目的は>

身体と精神の疲労回復です。中でも最大の目的は「大脳の休息」です。脳が使うエネルギーは身体全体を使うエネルギーの20%にも及ぶのです。日中の活動で疲れた脳は休息を必要とし、この休息に最も有効なのが「眠り」です。また、もう一つの役割に「記憶の定着」という働きがあります。人は日中にたくさんの情報を脳に取り入れていますが、寝ている間に脳はその中から必要な物を判断し、整理してくれます。

苦しみや悲しみを体験しても、一晩寝れば少し感情が和らいでいるのは、脳がいらない情報を捨ててくれているかもしれません。

眠りの調整を行っているのは、脳の奥にある体内時計です。朝起きたときに浴びる 日光で昼と夜のメリハリをつけます。目覚めて12時間は活動モードが保たれ、14 ~16時間で休息モードに入り自然な眠りとなります。

<快眠の効果は>

成長ホルモンは深い眠りでたくさん作られます。このホルモンは子供の身体を成長させるだけでなく、大人の疲労回復やけがの修復でも力を発揮させています。

また、病原体と戦うために身体で作られる免疫物質は、病気と闘うと同時に強く眠りを誘う作用を持っています。「風邪を引くと一日中眠っている」というのはこのためです。

そのために心身ともにリラックスして寝つきをよくすることが大切です。

<うまく寝るためのポイント>

- ・早起きは早寝につながる
- ・朝起きたら日光を取り入れる
- ・毎日できる運動を習慣づける
- ・昼寝をするなら午後3時前、20~30分程度で
- ・眠りが浅いときは積極的に遅寝・早起き
- ・睡眠薬の代わりに寝酒はかえって眠りを浅くします



起きたら必ず日光を浴びる

「健康食品について」

薬剤部

"アガリスク茸がガンを予防する"との虚偽宣伝で、経営者が逮捕されたことをご存じの方は多いのではないでしょうか。毎日のように、テレビ等で健康食品の話題が放送され、あるテレビ番組で「〇〇に何が効く」と食材が紹介されると、夕方にはスーパーで売り切れになるとのことです。また、ある調査では、入院患者の約80%の方が入院までに何らかの健康食品を服用されているとのことです。

当院でも、服薬の説明時に患者様からサプリメントについてお話をよくお聞きします。特に整形病棟では、「グルコサミン」「コンドロイチン」「サメの軟骨」といった健康食品を服用されていた患者様が多かったように思います。これらの健康食品は、重篤な副作用はみられないものの、宣伝されているほどの効果はないようです。実際には、服用後すぐに分解されて、もとの形では、関節の軟骨には達していません。また、アミノ糖であるグルコサミンを服用すると血糖値が上昇するとの報告もあります。

また、内科病棟では、抗血小板剤の「ワーファリン」を服用されている患者が、 世界初の経口血栓溶解剤と宣伝されている「ルンブルクス」を服用され、このため ワーファリンの効果が抑えられ、服用を中止すると再びワーファリンの効果が出て きたということです。そしてよく調べると、この食品には、「ナットウキナーゼ」 「みみずの乾燥粉末」等も含まれていることが判ったのです。このように健康食品 を服用することにより、医薬品自体の効果にも影響を及ぼす食品があります。

また赤ワインに心臓病を防ぐ効果があると一時話題になりましたが、赤ワインに含まれるポリフェノールにより一緒に食べた肉の脂肪分が体内で酸化されるのを防ぐためと考えられます。この発見のきっかけは、フランスでは心臓病で亡くなる人が少ないという調査結果からでした。しかし、フランス人にはワインの飲みすぎによる肝臓病やすい臓病の患者が多いようです。どうか、皆さんはバランスのよい食事を心がけて下さい。

患者様で健康食品を服用されている方は、すすんで医師や薬剤師に報告するようにして下さい。

皇太子さまリハビリセンターを視察される。



第29回全国育樹祭出席のため兵庫県を訪れた皇太子さまは、10月29日当センターを視察されました。



藤田所長の説明の後、理学療法・作業療法の様子を見学されました。共同研究目的実験室では電動で動く機械などをご覧になりました。皇太子さまは、侍従を通じて「皆さんが一生懸命リハビリに取り組んでいる様子が印象的でした、新しい器具や機械が開発されるのを目にし、様々な科学技術が福祉の面にも有効に活用されることを心から願っています」と感想を述べられました。

(2005.10.30読売新聞記事引用)

自 己 紹 介

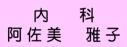


はじめまして、本年10月から当院リハビリテーション科に勤務してあります山本と申します。地域住民の方々や患者の皆様方にとって心より信頼されるリハビリ医療を目指し、いっそうの努力をして参る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

リハビリ科 山 本 勝 彦

10月から勤務している阿佐美です。 去年まで神戸リハビリテーション病院に勤 務していました。

当院では糖尿病、消化器を中心に一般内科 医として研鑚していきたいと思っています。 よろしくお願いします。







10月より泌尿器科で勤務をしております。 患者様のお役に立てるよう頑張りたいと 思います。 どうぞよろしくお願いいたします。

泌尿器科柳 内 章 宏